

令和2年

目黒区教育委員会

第23回定例会会議録

(令和2年7月7日開催)

第23回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年7月7日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関 根 義 孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻 井 道 雄
	教育委員会委員	後 藤 幸 子
	教育委員会委員	笹 尾 敦 夫
	教育委員会委員	松 村 眞理子

出席職員	教育次長	秋 丸 俊 彦
	教育政策課長	檜 本 達 司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関 真 徳
	学校ICT課長	今 村 茂 範
	学校運営課長	濱 下 正 樹
	学校施設計画課長	岡 英 雄
	教育指導課長	竹 花 仁 志
	教育支援課長	細 野 博 司
	統括指導主事	片 山 順 也
	統括指導主事	石 邑 由紀子
	生涯学習課長	千 葉 富美子

書記		佐 藤 洋 一
		森 高 健二郎

(議事日程)

- |      |      |  |
|------|------|--|
| 日程第1 | 協議事項 | 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について                                 |
| 日程第2 | 報告事項 | 令和2年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和元年度分）報告書（素案）について |

資料配布

- ・夏の子ども電話相談

(午前9時30分開会)

○教育長 令和2年第23回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、後藤委員  
です。

日程に入る前に、本日の座席の変更について、事務局に説明を求  
めます。

○説明員 座席につきましては、本年4月7日から新型コロナウイルス感  
染拡大防止に対応したものに变更しているところがございますが、  
感染拡大の防止に配慮しつつ、傍聴を希望される方が可能な限り  
傍聴できるようにするため、本日再度の変更をしたものでござい  
ます。

なお、この変更した座席につきましては、当分の間継続したいと  
考えてございます。

○教育長 承知いたしました。

座席の変更とともに、この教育委員会の傍聴人数につきましても、  
本日の会議より当分の間、22人までとすることといたします  
ので、委員の皆様もご承知おきください。

ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を  
許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。

なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆  
様にはお伝えすることはありません。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 協議事項 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択に  
ついて)

○説明員 (資料により説明)

○教育長 ただいま、事務局より説明がありましたが、私から改めて確認を  
させていただきます。

今回採択するのは、令和3年度から目黒区立中学校で使用する  
教科用図書です。委員の皆様は既に教科書の見本と併せて、「調査

研究委員会報告書」と「学校調査報告書」を一通りご覧になっているものと思います。本日、これらの報告書などを参考に、実際に教科書を手にしながらか協議を進めてまいりたいと思います。

協議につきましては、本日から5回に分けて進めてまいりたいと思います。

まず、本日7月7日の1回目から7月21日の3回目までは、各回、5種目から6種目の教科書について協議をし、発行者数の多い種目については、一定程度の絞り込みを行ってまいりたいと思います。7月28日の4回目の協議では、全種目の候補を各2社に絞り、8月4日の5回目の協議で、全種目の候補を各1社に絞りたいと思います。その上で、8月18日には、採択の議決を行う予定で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長        それでは、そのような形で進めていきたいと思います。なお、各委員及び私が発言する際に呼ぶ各教科書の発行者名については、お手元の発行者一覧に記載の協議用記号で呼ぶことといたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の協議に入ります。本日は5種目、国語、書写、数学、理科、美術について協議します。まず、国語から始めます。

委員の皆様には、実際に教科書を見た上で感じられたことや選定していく上での視点など、ご意見をいただきながら、採択候補とする教科書の発行者を2社又は3社挙げていただきたいと思ます。

○委員        「調査研究委員会報告書」に様々な意見がありましたので、それらの意見を尊重しながら、自分の定めた基準に照らして評価しようと考えています。

私は、主体的・対話的で深い学びが実現でき、新しいものを創り上げる創造力が養える教科書がよいと思います。また、義務教育であることから、内容に偏りがなく、個々の能力に対応でき、実生活に活かせる教科書がよいと思います。

国語は、全ての教科の基礎であり、日本の文化を大切に、実生活の中で生きていくことに役立つ教科書であるべきだと考えています。

その観点から、J社とH社がよいと思ました。まず、J社の教

科書については、巻頭で、1年間で身につけることや、具体的な思考トレーニングの方法の概要が記載されているため、この教科書を通じて何を学ぶか明確になっているところがよいと思いました。また、各章で、スピーチや話し合いに関する項目を設けているため、対話を通じて学習できる工夫がなされている点もよいと思いました。さらに、敬語の使い方や、語彙を豊富にする学習など、社会に出たときに、必要なことを学習できるつくりとなっている点がよいと思いました。

次に、H社の教科書は、他者の視点から考えさせる工夫や領域別の一覧で、各ページで学ぶべきことがまとめられている点がよかったです。また、グループでの対話を重視しているほか、古典の絵が大きくて見やすく、巻末の情報が充実している点がよいと思いました。

最後に、4社の教科書に「竹取物語」、ヘルマン・ヘッセの「少年の日の思い出」の題材が共通していましたので、その内容の比較結果が、J社とH社を推す要因となりました。

#### ○委員

どの教科書も新学習指導要領に従い作成されているため、構成に共通点が多く、選定が難しかったです。

私は、「学校調査報告書」などで、教員が生徒に教えやすいという記述がどれだけあるかということに注目しました。また、生徒たちが主体的に学びに向かえる工夫がなされているかということにも注目しました。最後に、目黒の生徒たちの実態に合った内容であるかについて注目し、教科書を選定しました。

その結果、H社、J社の2社がよいと思いました。

まずH社の教科書は、題材の前に「目標」、題材の後ろに「学びの道しるべ」というコーナーがあり、その中に「思考の方法」や「読み方を学ぼう」など、考える上でのサポートとなる工夫がなされていました。

また、題材の種類が豊富で、名作やJポップの歌詞など、生徒たちにとって取り組みやすいものが掲載されている点がよかったです。興味、関心を持って授業に取り組むことが学びのきっかけになると思いますので、その点がよかったです。

次に、J社の教科書は、題材の前後に「目標」や、考える上でのサポートとなる「学習の窓」のコーナーがあります。そして、それらが巻末に一覧として掲載されているので、容易に確認することができます。また、巻頭にも「思考の地図」というコーナーがあり、

思考を広げ、整理し、深める方法が図解とともに分かりやすく示されている点も、好感が持てました。さらに、「学校調査報告書」にも、目黒の生徒たちの実態に合った、発展的なものであるという記述が多かった点も選定の判断基準となりました。

○委員 私の教科書選定の基準について申し上げますと、まず、主体的に学習に取り組む態度を育む工夫がなされているかどうかという点です。次に、マイナス点がどれほどあるかということを経験といたしました。

この2つの基準により選定したところ、J社とH社がよいと思いました。

J社の教科書については、マイナス点はほぼありませんでしたが、H社の教科書で気になった点がありました。H社の教科書は、本編と資料編に分かれており、このつくり自体は、「調査研究委員会報告書」でも高く評価されていましたが、各学年の資料編の内容を見ますと、同じものであり、学年で内容に変化がないことについて疑問が残りました。

○委員 国語に関しては、4社の教科書を拝見しまして、J社がよいと思いました。他の3社の教科書は横並びという印象を受けました。

○教育長 私は、新学習指導要領に掲げられたポイントに照らしながら、選定を行いました。また、生徒たちが繰り返し手にする書物ですので、使用されている字体の読みやすさや、図表の見やすさ、写真の質、全体のレイアウトにも注目しました。さらに、生徒たちが能動的に関わるつくりになっているかという点に着目しながら、主に3年生の教科書を中心に見ました。

その結果、国語は、H社とJ社を選択しました。

まず、H社の教科書については、単元ごとに生徒たちの考えの形成と語彙の充実に向けた囲みが用意されていまして、各単元の内容を具体的に引きながら、思考の組立て方のヒントを示したり、一つの語句が用いる多様な意味合いを例示する中で、日本語の豊かさ、面白さを感じさせる工夫がありました。

また、巻末の資料編で国語の時間で学ぶことは社会生活で活かしていけるということを整理して示してあるので、生徒たちの動機づけにもなると思いました。

それから、3年生の教科書に夏目漱石の「坊ちゃん」が掲載されており、文字だけのページが数ページ続くところがあり、レイアウトとして気になりましたが、長文を生徒たちに正面から向き合わ

せるという観点からは、これもよいものだと判断をいたしました。

次に、J社の教科書については、巻頭に折込みページがありまして、1年間に学習することが一覧できるようになっています。学習の進行に伴って各単元で身につけるべきこと、身につけたことを常に見通せるようになっています。併せて、その裏面には、思考の広げ方、整理の仕方、深め方が一覧になっていて、活用しやすいつくりになっています。また、生徒たちの語彙を豊かにするという点では、各教材の脚注に語句の意味を載せるだけではなくて、生徒たちが自ら調べる、単文をつくる、類義語や対義語に当たらせるという工夫がなされています。

さらに、情報の扱い方に関する知識、技能の育成という点で同じ題材を扱った複数の新聞記事を示して、その切り口の違いを実感させるというつくりになっていて、このあたり、編集者の視点のよさを感じました。

以上の理由から、H社とJ社といたしました。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推された方が5名全員、H社を推された方が4名となりますので、H社、J社を採択候補として残すということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長            それでは、国語については2社に絞り込まれましたので、8月4日の協議でH社、J社を採択候補として、そこで1社に絞りたいと思います。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前9時58分休憩)

(午前9時59分再開)

○教育長            休憩前に引き続き協議を再開します。

次に、2番目の書写について協議します。

○委員              今回の選定で、一番悩んだ教科でした。各社の教科書を検討しましたが、文字を書く力を効果的に身に付けられる構成となっているかどうかという点を選定基準としまして、G社とJ社がよいと思いました。

この2社の教科書は、お手本を示すだけでなく、「書写のかぎ」、「学習の窓」というポイントを文字で端的に示してあるので、生徒たちに分かりやすいものだと思います。また、どちらの教科書も、文字文化を学ぶ資料が充実しており、学習活動に広げることができる内容も過不足なく記載されていると思いました。

書写に関しては、今の段階ではデジタルコンテンツの利用はあまり考えられないと思います。ただ、今後GIGAスクール構想によりICT機器の充実が図られ、生徒1人1台の情報端末が配られたときに、対応を検討する必要のある教科書ですので、QRコードなど、デジタルコンテンツが充実している点がよいと思いました。

○委員 私は、国語の教科書との関連を基準として選定しました。その結果、H社とJ社がよかったです。

4社それぞれ見ましたが、いずれも遜色のないものだと思います。マイナス評価の箇所を探しましたが、この教科書に関してはその点もほとんど差が見られませんでした。

ただ、H社の教科書については、他社の教科書より、生徒自身が学習に取り組む姿勢を引き出す工夫がなされている印象を受けました。

また、J社の教科書では、QRコードの利用の仕方が他社の教科書より優れている印象を受けました。

○委員 私も4社の教科書を見比べまして、いずれも書写の学習に関する内容について充実していたため、甲乙つけがたいと思いました。

ただ、I社の教科書の巻末に興味を引く付録がありまして、生徒たちも同じように興味を持って教科書に取り組んでくれると考え、I社を選びました。

○委員 書写については、日本の伝統の文字文化を継承し、社会の中で活かせる教科書がよいと思いました。

そこで、私はJ社とI社がよいと思いました。J社の教科書は「学習の窓」で必要なポイントが詳しく記載されているほか、学習の振り返りの項目が設けられています。また、別冊の「書写ブック」で、繰り返し学習することができるつくりとなっており、本書の関連ページも示されているので、勉強がしやすいと思いました。それから、日常生活に関連した項目がたくさんある点もよかったです。

次に、I社の教科書では、様々なところで学習の確認を行う機会が設けられており、キャラクターが必要なアドバイスを吹き出しにより示すなどの工夫がなされています。また、コラム欄で、文字

と日本文化の関わりを多く紹介しているところもよかったです。

○教育長

私は、国語の教科書の発行者との関係については意識せず検討しましたが、結果として、H社とJ社がよいと思いました。

H社の教科書については、毛筆の基本的な筆遣いの説明が具体的に分かりやすい点がよかったです。また、巻末の資料編で日常用いる書式については、どの教科書もそれぞれよくできていると思いました。H社の教科書では、時候の挨拶例の示し方が生徒たちの興味を引くようにできていることが印象的でした。そして、目次の後に1年生の学習の始まりと3年生の学習の終わりに、自分の氏名と学校名を硬筆で書こうというページがありますが、このあたりに面白さが感じられて、生徒たちにとってよいと思いました。

J社の教科書については、別冊がついており、この別冊の狙いが、本編の教科書で毛筆で学習したことを硬筆に生かして学びを深めるという、理にかなったものとなっています。本編の教科書のほうでもまずは1文字1文字を美しく読みやすく書くことが大事ということで、字形の整え方を分かりやすく、シンプルに示しています。このような基礎基本から応用に入り、終わりにユニバーサルデザイン書体のことにも触れて、生徒たちの文字に対する興味を引き出すという流れも、よくできていると思いました。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推された方が4名、H社を推された方が2名、I社を推された方が2名、G社を推された方が1名となりました。

今回、書写4社を、2社または3社に絞り込みたいと考えておりました。推された方の人数により絞り込むことといたしますが、アルファベット順に言いますと、H社、I社、J社の3社を残すということで、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、書写については3社に絞り込まれましたので、7月28日の協議ではH社、I社、J社を採択候補として、その中から2社に絞り込みを行いまして、8月4日の協議で1社に絞るという日程でまいりたいと思います。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時10分休憩)

(午前10時11分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き協議を再開いたします。  
次に、3番目の数学について協議します。
- 委員 私は、G社、K社、L社の3社がよいと思いました。  
中学の数学は、得意不得意が明確に分かれてしまう教科だと思  
います。そのため、数学に不得手な生徒に配慮する一方、数学が得  
意な生徒の学習意欲を向上させるほか、数学的思考を身につける  
ことを目的として、様々な工夫がなされているこれら3社の教科  
書を選定しました。  
まず、G社の教科書についてですが、「調査研究委員会報告書」  
でも述べられているとおり、生徒に数学的思考を身につけさせる  
工夫が特に顕著でした。他の6社の教科書についても、そのような  
工夫はなされていましたが、G社の教科書は、数学的思考について  
特に意識して作られている印象を受けました。  
また、私は、数学が嫌いにならないためには、数学への理解度を  
測れる工夫が必要であると考えており、「調査研究委員会報告書」  
では、その点についても高く評価されていました。  
次にK社の教科書についてですが、数学的思考を身につけるた  
めの工夫や、数学が苦手な生徒を念頭に、学習を継続させるための  
工夫に力を入れているという印象を受けました。生徒が数学を得  
意となるため、継続的な学習に取り組みやすい教科書づくりを評  
価しました。  
最後にL社の教科書についてですが、学習の途中で生徒がつま  
づくことがないように、段階的に学習をするための工夫がなされて  
いる点を評価しました。
- 委員 検討を行いました。7社あり、絞り切れていない状況ですので、  
今日の協議を聞いた上で、次回以降に検討させていただきたいと  
思います。
- 教育長 承知いたしました。
- 委員 数学は好き嫌いがはっきり出る教科であるため、学習状況に差  
がつきやすい教科だと思っておりますので、その課題への配慮が十分  
になされているかどうかを判断基準としました。  
結論から言いますと、G社、J社、K社がよいと思いました。  
まず、G社の教科書についてですが、先生が例題を説明した後に

生徒が設問に進む構成なのですが、例題と類似の問題には印がつけられているため、生徒にその問題を解かせることにより、先生が生徒の学習の理解度を確認できるつくりとなっています。また、自己チェックが可能な補充問題が設けられているため、一人で学習できる工夫がなされています。これらの点を評価し、G社を推しました。

次にJ社の教科書についてですが、この教科書も先生が生徒の学習の進行状況を把握できる工夫がなされています。さらに、数学と他の教科との関連について記載されている点がよいと思いました。

最後にK社の教科書についてですが、主体的な学習を重視したつくりで、学習記録をつける工夫がなされており、また、「自分から学ぼう編」というコーナーが巻末に設けられており、小学生の算数を振り返りながら学習を進めるつくりとなっています。一方で、「説明しよう」、「話しあおう」などのコーナーが設けられており、対話による学習への配慮もなされていました。

○委員

私は、G社、K社、L社、M社の4社を選びました。

数学は、基本を学び、学習を継続しないと身につかない教科だと考えています。ですので、選定では、数学への興味を刺激する工夫がなされているか、基本を押さえたものであり、つまずきやすいポイントが丁寧に解説されているか、生徒の実態に応じた発展的な内容が質、量ともにきちんと確保されているかどうかを確認するとともに、「学校調査報告書」でマイナスの意見が多いものを除いた結果、これら4社がよいと思いました。

○教育長

私は、G社、K社、L社の3社を選択しました。

G社の教科書については、各学年とも巻頭に数学の学び方、ノートの取り方がコンパクトにまとめられていまして、後半部分には自由研究に向けた課題が提示されたページがあり、レポートのまとめ方が示されています。

そのいずれもが、日常生活や他教科の学習との関連を生徒に意識させることが考えられています。さらに、現代社会で活用されている数学の実例が紹介されているなど、一貫して、生徒たちに数学を学ぶことの有用性を理解させることに意を用いている点を評価しました。

次に、K社の教科書については、巻末から始まって逆にページをめくる形で、生徒が自ら取り組んで学びを深めることを狙いと

たページを設けているところが特徴的でした。新学習指導要領のポイントの一つに、日常生活や社会の事象と、数学の事象に通じる問題の発見と解決の過程の重視というものがありますが、その点についても巻末からのページに具体例が盛り込まれていて、生徒が数学的な視点で身の回りの事象を見ることの有効性と面白さを見ることができるつくりになっています。

また、教科書の随所にQRコードが付されていて、ICT機器を活用した学習の展開が十分に考えられていると思いました。

最後にL社の教科書についてですが、この教科書も巻頭に数学の学び方、ノートの取り方、レポートのまとめ方が詳しく示されていますが、これらの手法を身につけることが他の分野でも役立つ旨の記述が不足していると思いました。それから、学んだ内容をより発展させて考えられるようにとの別冊がついていて、本編と同様にキャラクター同士のやり取りを通じて、問題の見方や考え方を身につけられると思いました。ただ、教科書本編は他社のものと同様にカラー印刷となっているのですが、この別冊は白黒印刷となっているため、生徒たちがどのような印象を受けるのか心配になりました。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推された方が4名、K社を推された方が4名、L社を推された方が3名、J社を推された方が1名、M社を推された方が1名となりました。

数学は7社ありまして、本日は3社または4社に絞り込みたいと考えているところでして、推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順で、G社、K社、L社の3社を残すということで、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長        それでは、数学については3社に絞り込まれましたので、7月28日の協議ではG社、K社、L社を採択候補として、その中から2社に絞り込みを行いまして、8月4日の協議で1社に絞るという日程でまいりたいと思います。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時27分休憩)

(午前10時28分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。  
次に、4番目の理科について協議いたします。
- 委員 理科についても絞り切れていないので、意見を留保させていただきます。
- 教育長 承知いたしました。
- 委員 理科については、身の回りの自然現象などを科学的に探究する力を養い、自然の中で人がよりよく生きていく術を学べる教科書がよいと思いました。  
多くの理科の教科書は、巻頭で課題、観察、実験、結果、考察、議論の順で学び方が示されていました。また、全ての教科書で様々なマークを用いており、工夫がなされている印象を受けました。  
その中で、G社の教科書では、各節ごとに課題に対して自分の考えを書き、他の生徒と対話しながら学ぶ構成となっており、探究力を育む工夫がなされています。また、教科書の判型が他の教科書より大きく、絵や字がきれいで見やすいです。友達との会話形式で学習が進む形も面白いと思いました。  
次にK社の教科書についてですが、他の生徒たちと協力しながら、学習を行う工夫がなされています。また、学んだ内容を学習のまとめで復習し、力試し問題へ進む構成もよいと思いました。教科書に付属している「探Qシート」を用いて、課題や仮説、疑問を探究する力を養う工夫もよかったです。  
最後にI社の教科書についてですが、この教科書は、理科を勉強することは試験のためではなく、生活の中で役立つために勉強するということが前面に出しています。また、「基本操作」というコーナーでは、QRコードにより、必要事項の説明が丁寧に記載されている点もよかったです。I社については、知識としての理科ではなく、日常生活の理科を心がけているということで選定しました。
- 委員 理科も苦手意識を持つ生徒が多い教科だと思しますので、生徒が興味や関心を持ちそうな身近な事柄を取り上げているものがよいと思います。ただし、基本的な知識や技能を定着できる作りであることも大切だと思っています。  
結論から申しますと、私はG社、I社、K社の3社を選びました。  
まず、G社の教科書は、課題を提示し、その課題に対する結論を自分の考えでまとめる作りとなっています。単元末には、学習内

容の整理で既習用語の確認をしつつ、応用の問題で知識の定着を図れるつくりとなっており、また、科学の歴史が漫画で紹介されているので、生徒たちは興味を持って取り組むと思いました。

次にI社の教科書は、「Can Do List」により授業ごとに示される学びのポイントが明確であるため、到達目標が分かりやすく学習しやすい点がよいと思いました。また、学びを日常生活に結び付ける工夫がなされている点もよかったです。

最後に、K社の教科書については、QRコードがたくさんあり、生徒たちが主体的に家でも学習できる工夫がなされている点がよかったです。QRコードに関しては、I社の教科書にもありましたが、K社の教科書のほうが多いと思いました。また、単元末の「学習のまとめ」、「力だめし」のページにボリュームがあり、知識や技能の定着も図られるようになっていると思います。

第1学年の教科書を見比べたとき、G社とI社とK社が単元の並びが違うことが気になり、「学校調査報告書」を見たところ、K社の並びに肯定的な意見が多かったことも選定のポイントです。

○委員

5社の教科書を拝見しましたが、いずれの教科書もよくできており、大きな差を見つけることが困難でした。

その中で、理科を好きになるための工夫がちりばめられている教科書がよいと思い、見比べたところ、私はG社とK社の2社に絞り込みました。

G社の教科書については、ページの下にフローチャートが記載されており、学習の流れが分かるところがよいと思いました。

また、問題発見の「レッツスタート」というコーナーでは、生徒自身に問題を発見させ、主体的に考えることを促す工夫がなされている点を評価しました。

K社の教科書は、実験について生徒自身に考えさせ、自ら学習する意欲を持たせる工夫がなされているところがよいと思いました。また、理科では、情報を集め、整理することが重要になると思いますので、QRコードによる情報の収集・整理は有用であり、その方法について記載し、生徒の意欲を高める工夫がなされている点を評価しました。

○教育長

私は、G社とK社を推します。

まず率直な感想としては、どの社の教科書も判型が大きいため、生徒は扱いに困るおそれがあると思いました。

G社の教科書については、記述の構成が単元から章へ、章から節

へと細分化されていく中で、一つの節が見開きできれいに整理されていて、色遣いも落ち着いているため、読みやすいものでした。

そして、3年生の最後の章で、持続可能な社会をつくるために私たちに求められているものは何かという大きな問いかけがありまして、生徒の心に響く内容になっていると思います。

ただ、判型が他社のものより横は2センチほど短かく、縦は4センチほど長いという形状ですので、使い勝手が気になりました。

次にK社の教科書については、巻末についているシートが特徴的でして、これはテーマごとに課題の設定、仮説の設定から観察実験を経て、結果の確認から考察まで、一連の流れを管理できるシートですので、科学的態度を身につけるに当たり、有用であると思いました。

また、單元ごとに学習内容を見開きでまとめたページが設けられており、生徒たちの理解を助けるつくりになっています。さらに、理科の実験は、楽しくもあり、危険な要素も含むものですが、実験を行う際に必要な知識、技能について丁寧に示されている点も評価しました。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推された方が4名、K社を推された方が4名、I社を推された方が2名となりましたので、この3社を採択候補として残すということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長            それでは、理科については3社に絞り込まれましたので、7月28日の協議ではG社、K社、I社を採択候補として、その中から2社に絞り込みを行いまして、8月4日の協議で1社に絞るという日程でまいりたいと思います。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時41分休憩)

(午前10時42分再開)

○教育長            休憩前に引き続き協議を再開します。  
本日最後の美術について協議します。

○委員 美術については、美術文化や美術活動を通して感性を豊かにし、心豊かな生活を創造できる教科書がよいと考えています。

まず、3社いずれの教科書も、小学校の図画工作から美術への導入がしっかりしていると思いました。教科書も同じ大きさで、いずれの教科書も見開きで迫力のある写真を掲載し、学びを支える資料も充実していると思いました。

その中で、I社とH社がよいと思いました。

まず、I社の教科書についてですが、学びの目標、解説の後に、多くの生徒作品とその作者の言葉が掲載してあり、作品を身近に感じることができました。また、作者の気持ちなどが多く掲載されていることから、美術作品を通して、作者の思いを知り得るところがよいと思いました。

次にH社の教科書ですが、この教科書には美術作品の見方や、美術に関する基本的なことが記載されていて、美術作品を身近に感じるができるつくりになっています。また、他の教科とのつながりに関する記載があることもよかったです。

○委員 今回絞り込みをしている教科の中で、最も発行者の特徴が表れている教科だと思いました。掲載する写真やイラストの違い、その大きさ、見せ方で個性がでているのだと思いました。この教科につきましては、学習指導要領のポイントを照らし合わせて選んだ結果、私はG社とH社がよいと思いました。

G社、H社の教科書とも、巻末の資料が基礎的な知識や技能の習得に役立つ内容であること、QRコードが各章にあり、生徒に興味を持たせられるようなつくりになっており、生徒が主体的に学べる工夫があるところがよかったです。

特に、H社の教科書は、3社の中で、最も見やすい構成になっていました。紙質の異なるページを挿入するなど、多くの生徒が興味、関心を持って、美術に関わりたいと思う工夫がなされていた点がよかったです。

○委員 いずれの教科書も、大きなマイナス評価に該当するものはありませんでしたので、私は、自分で一番よいと思ったものを選び、それに続くものがあるかどうかという視点で選定しました。

その結果、I社とH社がよいと思いました。

まず、I社の教科書は、原寸大の作品やQRコードの活用など、生徒が興味を持つ工夫がなされているところがよいと思いました。

また、美術の教科では、絵を描いたり、それを鑑賞することが主

な内容となりますので、文字によらないアプローチをする教科書がよいと思います。H社の教科書は、感動できる作品を多く掲載しており、作品とのふれあいを大切にする姿勢が見られたので選定しました。

○委員 美術の科目は、他の教科と異なり、実技が重視されるため、教科書だけで勉強するものではないと考えています。ですので、作品を繰り返し見たくなるようなレイアウトで掲載している教科書がよいと思い、G社を選定しました。

H社とI社の教科書については、甲乙つけ難かったため、G社のみとしました。

○教育長 私は、美術の教科書については、表紙から始まり、ページをめくるごとに目に入る作品が、美術史に残るような作品であれば、生徒たちが実物を見たいと思い、生徒作品が掲載されていれば、それを見た生徒たちが刺激を受け、自分も作りたいと思う教科書がよいと考え、H社とI社を選定しました。

まず、H社の教科書については、生徒たちに学び取ってほしい内容が單元ごとに分かりやすく示されており、大変教科書らしい教科書だと思いました。ただ、掲載されている作品の見せ方がI社の教科書に比べると、おとなしく見えたところがありました。

次に、I社の教科書についてですが、掲載されている生徒作品の選定がよく、生徒たちの創作意欲を刺激するものだと思います。また、著名な作品については、その成り立ちや、作者の意図が案内されるとともに、それを見てあなたはどうか感じるかという問いかけもあり、よい教科書だと思いました。

ただ、教科書が3分冊で、1冊は第1学年用、2冊目、3冊目が第2学年及び第3学年用の上巻下巻という区切りになっていますので、どのように使うのか疑問が残りました。

出ました意見を集約いたしますと、H社を推された方が4名、I社を推された方が3名、G社を推された方が2名となりました。

今回、美術3社のうち、2社に絞り込みたいと考えているところでして、推された方の人数により絞り込むことといたしますと、アルファベット順で、H社とI社の2社を残すということで、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

